

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム花音

目標達成計画

作成日: 令和4年 3月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	夜間オムツ対応の方が数名おられるが、排泄の自立に向けた支援として、トイレ誘導に切り替え可能な方がいたり、夜間起こしたくないとの理由からパットを複数枚つけたり、職員により使用方法が統一されていない事がある。	パット交換の指標を決めて、共通の介護を目指す。オムツ、パットの使用量を減らしご家族の金銭的負担の軽減をする。	おむつ研修をしてパット交換のタイミングを組み立てる。排泄管理表にパット交換の記録を必ず付け(記入しない職員がいる)失禁の少ない方は、リハパンを止めて布パンツにパットをする等する。	8ヶ月
2	47	入居者様の病歴、現病の理解の不足と、使用している薬の使用目的、副作用、用法容量についての理解が不足している職員が少なからずおり、薬変更時に服薬事故が増える傾向がある。	入居者様それぞれの病状、病歴の理解と薬の知識を持ち、薬の効果やなぜこの薬を服用しているのかの理解をし、服薬事故を未然に防ぐための意識を持つ。	病歴、現病の確認をし、服薬理由や薬効、副作用を知り、体調の変化による薬の変更時に多発傾向にある服薬事故、ミスを無くすため、送り・全体会議等で薬の知識、意識の持ちようを学ぶ機会を持つ。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。